

【リプロダクションセンターにおける看護カウンセリング】

なかなかゴールが見えない不妊治療は心身ともに疲弊します。医師に提示されることが正解のように思い、言われるがまま突き進むカップルも多いと思います。不安と疑問が少しでも軽減できるように看護カウンセリングを行います。正確な情報提供を行い、患者様、カップル自らが意思決定できるように支援していきます。医師、看護師、胚培養士、心理士とシームレスな連携をはかり、患者様の一番近くにいる看護師だからこそその視点で、チームとの橋渡しをしていきます。

- 受診そのものについて悩んでいらっしゃる方
- 治療がはじまるとき、治療のステップアップ時の悩み、情報提供、精神的なサポート
 - 「自然な性交渉ができない」
 - 「頻回受診・自己注射もがんばっているのに、どうして妊娠しないの」
 - 「治療をやめる決心がつかない」
 - 「先生が決めたタイミングなのに何故妊娠しないの」
 - 「お金はいくらかかるの？」
 - 「二人目がなかなかできない」
- 治療が長期にわたるとき
- 治療をお休みする、治療終結に関するご相談
- がん患者さんの妊孕性温存についてのご相談

不妊症看護認定看護師からのメッセージ

不妊治療は早めの受診が肝心です。迷っておられるのならばまずはお気軽にご相談ください。

ご夫婦で治療にのぞめるように、不安や疑問に対し丁寧にわかりやすくご説明いたします。そしてその迷いに寄り添い、納得して次の一歩が踏み出せるようお手伝いさせていただきます。「赤ちゃんが欲しい」その思いを叶えるために患者様と一緒にがんばります